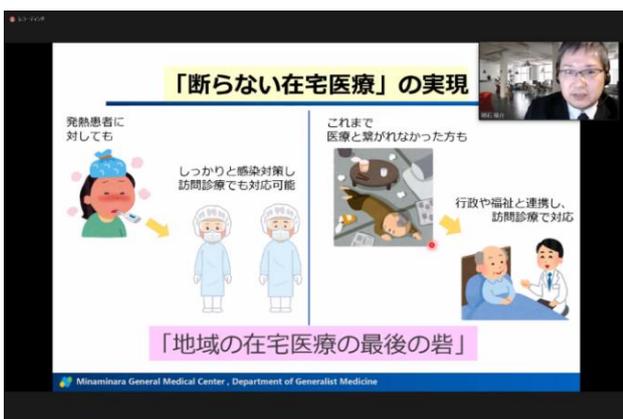


令和4年度難病医療従事者研修会報告

令和5年2月4日にWEB配信で研修会を開催し、医師・看護師・保健師・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・社会福祉士・ケアマネージャーなど72名の多職種の方にご参加いただきました。

本研修会の開催にあたり、主催者を代表し、奈良県難病診療連携拠点病院運営検討委員会委員長、奈良県福祉医療部医療政策局健康推進課課長からの挨拶の後、奈良県健康推進課より「奈良県の難病対策事業」についてと、前回アンケートで要望のあった「指定難病医療費助成制度」の申請の流れについて情報提供を行いました。

講演では、前年度のアンケートをもとに、希望の多かった疾患について、当院脳神経内科杉江和馬教授より「進化する脊髄小脳変性症・多系統萎縮症の診療」について、同じく当院消化器外科小山病院教授より「炎症性腸疾患治療の進歩」についての講演を行いました。また、南奈良総合医療センター 総合診療科／在宅医療支援センター部長明石先生より、「南和で展開する在宅医療支援の取り組み」～地域の急性期基幹病院が行なう在宅医療支援～ と題して今後ますます重要となってくる在宅医療についてこれまでの経験をもとにその取り組みと課題について講演いただきました。



研修後のアンケートでは、49名の方にご回答いただきました。そのほとんどの方から満足度が高かったと回答をいただきました。その理由として、「奈良県の難病の現状について知ることができた」、「新しい治療など、知識のブラッシュアップになった」、「在宅医療について、南奈良の取り組みについて知ることができた」や「法・制度、疾患・治療・地域医療、それぞれの今をわかりやすく説明いただいたので、非常わかりやすかったです。」といった感想をいただきました。

今後も奈良県の難病医療の向上を目指し、難病医療提供体制の構築に取り組んでまいります。